

放射線治療センター

Plan 計画

現状分析と課題

- ・高精度放射線治療の実施件数は前年比 1.2 倍と毎年増加傾向にある。
- ・今年度、26 年間使用した治療機器の更新が予定されている。

目標

- ・患者へより良い高精度放射線治療を提供するための計画的な対策を実施する。
- ・現行機器の耐用年数を最大限に延ばし、持続可能な機器更新のための中長期計画を策定する。



Do 実行

機器更新工事への対応

- ・工事に伴い、患者の動線確保、騒音などの不快感軽減を徹底し、安全な治療を提供するため、業者と全業種内で情報共有を行い、最善の対応を実施する。

新旧機器の比較と導入

新しい治療機器と現状の治療機器の違いを明確にし、症例のすみ分けを計画する。どちらの治療計画装置や治療装置が適切かを調査・検討する。

情報収集

他施設における中長期的な機器更新事例を調査する。

Action 改善



プロトコルと精度管理の強化

高精度放射線治療のプロトコルと精度管理体制を見直し・強化する。

業務効率化と働き方改革

スタッフの役割分担と業務フローを見直し、効率的な運用と働き方改革を推進する。

中長期計画の継続

治療機器更新に関する中長期計画の提案を継続する。

治療の質向上

高精度放射線治療の適応拡大、質向上を検討する。



Check 評価



工事の影響評価

工事による患者への安心・安全な治療提供が達成できたか評価する。

治療の質と安全性の評価

高精度放射線治療の実施症例数、治療精度、および安全性を評価する。

新旧機器比較の結果評価

新しい治療機器と現状の治療機器の違いを調査した結果を評価する。